

1. 本園の教育目標

心ゆたかに たくましく

- ・いきいきと楽しく遊べる環境をつくる。
- ・心身ともにたくましい子どもを育てる。
- ・ゆたかな感性をもち、のびのびと表現する子どもを育てる。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

- ① 今年度の努力目標「おもしろそう やってみよう たのしいな ～一人ひとりの子ども達がのびのびと表現できる環境や援助について考える～」の達成に向け、担任教諭の園内研修や全職員での教材研究を積極的に行い、検討や考察をしながら保育内容の充実を図ることに努める。
- ② 幼児理解に努め、一人ひとりの子ども達が安心安全に過ごすための工夫について考える。
- ③ 安全管理体制を確立する。様々な角度から安全管理について考え、避難訓練や感染防止対策を行う。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	結果	理 由
① 教育課程の編成	A	・日々の保育に必要な教材研究に取り組み、振り返りや反省などを十分に行い、ねらいや保育内容の打ち合わせの際に活かすことができた。 ・子供の主体性を大切にしたい保育の進め方、適切な援助について考えることができた。 ・「おもしろそう!やってみよう!」と思えるような造形遊びの具体的な指導方法について、講師の指導助言や園内研修から学んだことを保育に活かすことができた。
② 幼児理解	B	・子供一人ひとりを理解するために、職員間で話し合う機会を大切にし、多面的にとらえられるよう努力した。 ・保護者や関係機関と連携をとり、子供が安心して過ごせるよう努めた。
③ 安全管理体制の確立	B	・様々な事態を想定した避難訓練を実施し、園児の安全確保に努めた。 ・日々の園生活の中で、感染防止対策について職員間の情報共有を行い、行事の取り組み方などについての工夫について考えた。 ・さすまたの使用方法や園内の安全確認について、吹田警察より指導や訓練を受け、園での防犯意識を高めた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理 由
B	・子供達が表現することを楽しむ姿が多く見られるようになった。日々の保育を全職員で振り返ることで、成果と課題が明らかになった。 ・子供一人ひとりに合わせた援助や支援について、学びを深めることが必要である。

◎「3.4.」の評価結果の表示方法

A: 十分達成されている B: 達成されている C: 取り組まれているが、成果が十分でない D: 取り組みが不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
特別支援教育の充実	一人ひとりの子供の姿や育ちについて、課題や支援方法を明確にし、職員間の共有に努める。
子育て支援活動の充実	地域の未就園児保育の回数の拡充、子育て支援関係機関連絡会議や研究会に参加することで、子育て支援活動の充実を図る。

